

解説

『宋家の三姉妹』

4月9日 / 5月14日 日中友好協会湘南支部 中国映画鑑賞会



(原題：宋家皇朝) 1997年香港・日本合作映画。

日本公開98年 上映時間145分。

監督：メイベル・チャン

出演者：宋慶齡：マギー・チャン 宋靄齡：ミシェール・ヨー (宋美齡：ヴィヴィアン・ウー 孫文：ウィンストン・チャオ)

清王朝から中華民国へと移る時代の中で、近代中国史に大きな影響を与えた宋家の三姉妹。長女の宋靄齡(そうあいいい)は大財閥の当主・孔祥熙(こうしょうき)と、次女の宋慶齡(そうけいいい)は中国革命の父孫文と、3女の宋美齡(そうびれい)は後の中華民国総統・蒋介石と結婚し、「一人は金を、一人は権力を、一人は中国を愛した」と言われた。

= 物語のあらすじ =

3人の父、宋耀如はアメリカで苦学をしながら大学を出て帰国後、会社を経営し財を築いた。その財を活かして3男3女をすべてアメリカに留学させた。

長女・靄齡は、東京で山西省出身の大富豪である孔祥熙という青年を紹介された。1913年春、2人は横浜で結婚式をあげた。

次女・慶齡は、結婚した靄齡がそれまで務めていた孫文の秘書になった。慶齡は秘書として働くうちに、孫文の革命事業に共鳴し中国を救えるのは彼しかいない、そんな彼と人生をともに生きたいと思うようになった。しかし両親は大反対。孫文には妻や子供もおり、しかも財産がなかったからである。しかし慶齡は孫文以外の誰とも結婚しないと宣言、駆け落ち同然で家を出た。1915年、両親の反対を押し切り2人は結婚した。世話をしたのは孫文の友人、梅屋庄吉であった。披露宴は新宿大久保の梅屋庄吉邸で催された。この間、宋家で美齡だけが慶齡に理解を示したという。

3女・美齡は10年間の米国留学から帰国後、1927年に蒋介石にくどかれ結婚した。政略結婚だった。慶齡は蒋介石を信用していなかったため衝撃を受けた。美齡は「中国のファースト・レディ」になる誘惑に抵抗できなかった。実はこの結婚の仕掛け人は靄齡であった。弟・宋子文と夫・孔祥熙の2人にこの結婚が大きな利益を生むことを分かっていたからだった。

時代は混迷を極めた。孫文は、晩年、国民党と共産党の合作、ソ連との連携と労働者・農民運動への援助を3大政策として革命運動の基本路線とした。慶齡はこれを支持し、このために積極

的に働いた。しかし、孫文は1925年、肝臓ガンのため北京で死去する。彼女は大きな痛手を受けたが、「革命はいまだ成功していない。同志は努力しなければならない」という孫文の遺言が彼女を鼓舞することになる。

孫文死去後、国民党で実権を握ったのは蒋介石だった。だが国内統一をめざし、共産党打倒を主張する蒋介石と、孫文の遺志を継ぎ、共産党と協力して日本の侵略と闘おうと主張する慶齡は真っ向から対立した。蒋介石を中心とする国民党右派の勢力は南京に政府を樹立した。また武漢において、慶齡や弟の宋子文ら国民党左派をメンバーとする、国民政府が成立した。慶齡は、孫文の3大政策を堅く守って、蒋介石政権の反共弾圧に抗議した。

1931年、満州事変が勃発すると慶齡は抗日運動と反共弾圧による政治犯の救済に奔走する。蒋介石は、「抗日」よりも「反共」を主張。そのため慶齡には銃弾を送りつけられるなど自身にもテロの脅迫にさらされるようにもなった。

1936年12月、西安に督戦に行った蒋介石が、張学良から今は共産党撲滅作戦より一致団結して抗日に当たるべしとの要求を突きつけられ軟禁された。いわゆる西安事変である。上海でこの知らせを聞いた美齡は、すぐに西安に飛ぶ決意をした。美齡は夫の救出だけでなく、国家の危機への対処に関わることと考え一直線に動いた。慶齡も蔣の政治手法は許し難いがいま彼を死なせると国内が混乱し一致抗日の術を失うと判断した。美齡は反共第一だった蒋介石を抗日のため、国共合作にするよう説得した。

中国共産党代表周恩来の働きもあり、国民党と共産党が協力して抗日戦に当たることになった。姉妹は世界に向かって抗日中国への援助を呼びかけ、3姉妹が揃って募金活動や孤児救済等の先頭にたった。とりわけ美齡の活躍が目立った。

1945年、日本敗戦後の内戦に敗れた蒋介石と美齡は1949年12月、国民党と共に台湾に撤退した。慶齡はすでに香港へ行き、慶齡だけが中国にとどまった。1949年10月、中華人民共和国が成立すると慶齡は中央人民政府の副主席に迎えられる。新中国の建設に参加する傍ら荒廃からの子供たちの救済と育成に奔走した。現在も北京、上海、武漢などに立派な「宋慶齡故居」があり人民政府により宋慶齡が如何に大切に遇されていたかが分かる。美齡は晩年米国に移住し106歳で世を閉じた。宋三姉妹は三者三様の生き方をしたが、お互いを思う気持ちを失わなかったという。(岡崎雄児)

参考文献

伊藤純・伊藤真著『宋姉妹 中国を支配した華麗なる一族』(角川文庫 1998)、スターリング・シーグレイブ著、田畑光永訳『宋家王朝 中国の富と権力を支配した一族の物語(上・下)』(岩波現代文庫 2010)